

輪

新潟大学附属特別支援学校
学校便り 第526号
令和8年2月9日発行

一人一人が輝いた「すなやま祭」

特別活動部主任 参宮 美樹

今年度も全校児童生徒、職員、保護者、卒業生が一堂に会してすなやま祭を開催することができました。昨年度同様、保護者の皆様には、限られた席を譲り合って参観いただくなど、御理解と御協力いただき、心より感謝申し上げます。

子供たちは、「初めてのすなやま祭、緊張するなあ」「自分の役割をがんばるぞ！」等、様々な思いを持ち、各学部で練習を重ねてきました。当日は、どの学部もこれまでの学びや頑張りをしっかりと発表し、会場には応援の声や一緒に盛り上がる姿が広がり、全体が一体感に包まれていました。すなやま祭終了後は、児童生徒から「頑張りました！」「他の学部の発表楽しかったです！」などの言葉があり、思い出に残る日になったのではないのでしょうか。

保護者の皆様には、すなやま祭に関するアンケートにも御協力いただきました。皆様からの貴重な御意見、御感想を来年度以降に生かしていきたいと思っております。大変ありがとうございました。

小学部児童会による開会宣言
「かいまくです！」



中学部生徒会によるオープニング



高等部生徒会によるエンディング



すなやま祭大成功！



<各学部の発表の様子>

【小学部】花丸いっぱい のすなやま祭！！

小学部は「すなやま祭 ～みんなのがんばりで花丸大作戦！2026」をテーマに、これまで取り組んできた学習の成果を発表しました。すなやま祭に向け、「がんばったことを伝えたい！」という思いを持って、発表練習に取り組んできました。当日は、大きなステージで発表する楽しさや観ているお客様から拍手や歓声をもらうことの嬉しさを味わいながら、元気いっぱい発表することができました。さらに、保護者の皆様、そして優しい先輩たちから大きな花丸をもらうことができ、花丸大作戦大・成・功！で終わることができました。たくさんの御声援をありがとうございました。



(小学部 百崎 千)

【中学部】中コレ大成功！

中学部では、「中学部コレクション by Myakuyama」というテーマで発表をしました。スーパーモデルにふんし、センターステージで社会生活で身に付けた力を披露しました。これまでの学習の成果を「中学部コレクション」を通して伝えるため、友達と協力して発表に必要な道具を作ったり、せりふを何度も練習して覚えたりと、より良い発表になるよう、日々練習に励んできました。本番では、これまでの練習を力に変え、自信を持って発表することができました。発表を終えると、子供たちの「大成功！」という気持ちが笑顔に表れていました。たくさんの温かい御声援、ありがとうございました。



(中学部 本間 美咲)

【高等部】夢に向かって出発進行！

高等部は「夢に向かって出発進行！～高等部芸術大爆発 Special～」と題して学習の成果を発表しました。

今年度は美術と音楽チームに分かれ、美術チームは授業で製作した段ボールアートを発表し、音楽チームは「銀河鉄道999」を太鼓や木琴、キーボード等を使って合奏しました。その後3年生は自身の夢について発表する「プレドリ」を行い、最後は全員でSEKAI NO OWARIの「RPG」を合唱しました。

各自せりふや発表内容を工夫し、本番はそれぞれが自分の学習成果を精一杯発表することができました。たくさんの温かい御声援ありがとうございました。



(高等部 大矢 康平)